

# 「十勝川西長いも」現地調査・商談レポート

## 参加者

帯広市川西農業協同組合

参事 山根 康弘

管理部長 高山 直保（流通統括補佐兼務）

青果部長 丹後 正彦

青果販売課長 石郷岡 大介

## 訪問国

台湾 ①台北市 ②高雄市

## 期間

2月10日(月)～2月13日(木)

## 1、訪問日程・場所

### 時間

- ・台北第一市場 6時～8時（長いも他販売状況調査）
- ・台北市内 PX マート 10時～11時（長いも他販売状況調査）（頼バイヤー）
- ・台北市内カルフル 11時～12時（長いも他販売状況調査）
- ・ジャンフルーツ社 15時～17時(商談) (ジャン会長・ジャン社長・マイケル社長)

## 2、内容

### 【ジャンフルーツ社との商談】

#### ・これまでの出荷状況について

令和5年産十勝川西長いもの輸出に関して、出荷数量が350tにとどまる原因となった内部品質の低下は気象変動にあり、高温・干ばつの影響を強く受けて乾物率が低くしたためであると説明(石郷岡青果販売課長より)

#### ・今年産の産地での取り組み状況について

令和6年産は長いものつる切り日や収穫時期を遅らせるなど様々な対策を講じた結果、平年並みの品質となっていることを説明(丹後青果部長より)

#### ・今回の商談目的について

今回、品質の向上が図られたことから、インポーターに対し産地の生産状況を直接報告し、今後の拡



販に向けた商談をさせて頂きたい旨、また現地量販店の日本産・外国産長いもそれぞれの販売状況や市場での流通形態に関する調査を行うことが訪問目的であることを伝えた。(高山流通統括補佐より)

・ジャンフルーツ社のジャン会長からは、とにかく品質が全てであり、結果として顧客がリピーターとなって拡販に繋がると主張。産地としての更なる品質向上の努力に傾注してもらうことを要請された。

・この要請を受け、十勝川西長いもグループ全体としても、さらなる品質の向上に向けて農業試験場や改良普及センターなどの関係機関と連携し、ブランド力の強化を目指すことを伝え(山根参事より)、拡販に向けて、早速の台湾への輸出便の手配が依頼された。



(ジャンフルーツ社との商談後)



また、ジャパブランドのポスターやシールもあわせて取引先のスーパーなどの拡販に活用していただくよう、直接手渡して依頼した。

【台北市内スーパー長いも販売状況調査結果】

- PX マート:A2L1本売り 198 元≒約 1,000 円
- カルフル:AL1本売り 208 元→見切りで 70%OFF の 146 元≒約 730 円

